

1月9日(月)

始まりは心から

聖書朗読 箴言 4:23~27

力の限り、見張って、あなたの心を見守れ。いのちの泉はこれからわく。

箴言 4:23

まだGPSが無かった頃、私の父が、キッチンテーブルに地図と旅行パンフレットを広げ、延々と眺めていたのを覚えています。父は、どこへ行き、どの経路を取るべきか、どこにどのくらい滞在するか、費用はどのくらいかかるかといったことを考えながら、私たちの夏休みの旅の計画を練っていたのです。あらゆる選択肢を勘案し、費用を算出してから旅程を決め、そして私たちは旅に出かけたものです。

箴言4章には似たようなことが描かれていますが、それはもっと長い旅、生きる限り続く旅です。この旅では、すべて偽りを言う口（真実でなく悪意に満ちた口）は取り除かれます。私たちの目は真っすぐ前を見つめ、足は正しい道に留まります。また悪に思いを逸らされることはなくなり、私たちは道から逸れることはありません。けれどもそのような旅を始める前に、私たちは正しい心を備える必要があります。

今日私たちの考える心は、気持ちや感情と結びついたものですが、聖書の時代の心とは、思考、熟慮、判断、あるいは物事の計画を立てる際の中心とされていました。そしてそれは私たちが人生の旅路を始める前に留まるべきところではあります。私たちに向かうべき方向を示してくださるのはどなたでしょう。私たちはどのくらいその指示に従う決意をしているのでしょうか。私たちは皆、天国の扉へと導くこの旅路に入る必要があります。けれども、その旅をどこから、どのように始めるかが肝心です。この旅は何よりも自分の心から始めるものです。

讃美歌 270

祈り お父様。私たちの思いを澄んだものとし、心を清め、道をお示してください。私たちが留まるべきところへ私たちを引き戻し、私たちが落ち込んだ所から引き揚げてください。あなたの家に私たちを連れ帰ってくださいますように。イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

ポール・L・ワトソン

ノースカロライナ州 ダーラム

今日の力

2023年1月9日～1月15日

翻訳 藤岡 伸子

編集 野口恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

1月10日(火)

勤勉なアリ

聖書朗読 箴言 6:1~11

なまけ者よ。蟻のところへ行き、そのやり方を見て知恵を得よ。

箴言 6:6

私は子供の頃、我が家の裏のテラスで動き回っている蟻に興味がありました。彼らは常にあちこち走り回り、殺虫剤を振りまかれられない限り、怠けた蟻を見つけることは出来ません。さらに、彼らは自分たちのからだの10倍ほどもあるご馳走を運ぶことが出来るのです。何と驚くべき生き物かと思えます。

怠けた者たちに対し神様が小さな生き物である蟻を見よとおっしゃったのは、おそらく次のようなことからでしょう。人はしばしば出来るだけ何もせずに事を済ませようとするところがあるでしょう。臆病な人は困難な仕事を恐れ、努力をせずに良い人生を手に入れたいと考えるかもしれません。すぐに快適さや満足を得たいと考えるわけです。

蟻たちがご馳走にありつけているのは、前もって準備をしているからです。私たちは、知性があるにもかかわらず事前に計画することを怠り、その結果何か不足してしまうことがあります。神様はその姿に似せて造られ成長した者である私に、蟻の働きを見てみよとおっしゃっています。神様がこの小さな生き物を造られたのは、私たち怠惰な者に貴重な教訓を示すためだったのではないかと思えます。

讃美歌 367

祈り お父様。私たちが変わるべきとき、自らと向き合う勇気を与えてください。成長すべき点に気付く知恵をお与えください。あなた様の恵みと赦しを感謝します。イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

スティーブン・クラーク・ゴード
カリフォルニア州 ブライス

1月11日(水)

神は与えたもう

聖書朗読 箴言 22:5~9

だれに対しても、何の借りもあってはいけません。ただし、互いに愛し合うことについては別です。
ローマ 13:8

負債というものは決してなくならず、返済するか、そうでなければ破産し、更なる問題を抱えることとなります。聖書には「借りる者は貸す者のしもべとなる。」とあります。

けれども負債がより深刻なのは、経済的な側面よりも霊的な側面ではないでしょうか。なぜ私たちはそれほど浪費してしまうのでしょうか。私たちの欲求はしばしば自分の許容範囲を超え、自分に幸せをもたらしてくれると信じるが為に多くの物が欲しくなります。聖書はこれをむさぼりと呼んでいます。むさぼりは罪です。なぜなら、神様より物を大切にしてしまうからです(ローマ13:9)。

私たちは、必要もないものを求めたりむさぼったりする誘惑にかられることがあります。実践していくことが必要かもしれませんが、神様の平安のうちにただ座ることを学ぶことで、私たちに最も必要なものが満たされるのです。イエス様は私たちをいつも気に掛けておられ、何を食べようか、何を着ようか、あるいは明日の事を思い煩うなど言っておられます。なぜならイエス様は常に私たちとともにいてくださるからです。私たちの飢え渴きを満たしてくださるお方はイエス様の他にないという事を覚えて慰めを見出しましょう。イエス様こそ、道であり、真理であり、いのちなのです。

讃美歌 509

祈り 天のお父様。幸せをもたらすと思うものへの欲求から私たちを解放してください。私たちは、ただあなた様だけを望むことが出来るよう、常にあなた様からの力と勇気を必要としています。イエス様のお名前によって。アーメン。

ティム・トーマス
アラバマ州 ディケーター

1月12日(木)

神のみ声

聖書朗読 箴言 30:1~6

確かに、私は人間の中でも最も愚かで、私には人間の悟りがない。私はまだ知恵も学ばず、聖なる方の知識も知らない。

箴言 30:2~3

私は都会の人間なので、常に耳にし目にするのは、せわしく行き交う車の音、点滅するライト、気を引こうとする群衆の声です。常に様々な声を聞き、良いものと悪いもの聞き分けなければなりません、それはいつもうまく行くとは限りません。

私の義理の父は、南オクラホマで牛を飼育しており、春の終わり頃には干し草を刈ります。牧草を刈り取り、掻き集め、出荷用に梱包するといったそれぞれの作業は天候に左右されます。義理の父と牧場に出掛けると、そこにはゆったりとした穏やかな暮らしがあり、それぞれの音をハッキリと聞き分けることができます。牛の鳴き声、機械のブーンという音、鳥の鳴き声、そして私が必要としている緑にそよぐ風の音。こうした一つ一つの音を捉えることが出来るのです。

今日の聖書箇所箴言では、靈的にも同じ事が求められています。神様がそのみ力によって支えてくださるといふ権威あるみことばこそ、耳を傾けるに値するものであるという事が語られています。今日の聖書箇所に「だれが風をたなごころに集めただろうか。」「だれが水を衣のうちに包んだだろうか。」とありますが、これは、義理の父の牧場にあるような自然界について触れ、私たちの力と神様のみ力を比べているものです。

天候と同じように、不確かな事はオクラホマの田舎にも都会にも起こります。今日は干ばつ、明日は洪水といったことが起こり、私たちはその被害を食い止めようとしますが、こうした不確かさを支配しておられる唯一のお方がおられるのです。そのお方の弟子たちが言っているように、風も波もみなそのお方に従うのです。そのみ声が、困難を乗り越えさせてくださいます。神様のみ声に耳を傾けましょう。

讃美歌 313

祈り 親愛なる主よ。私たちが人生の混乱を避けることが出来るようにしてください。あなた様のみ声にのみ耳を傾けさせてください。イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

ネイサン・シャンク

オクラホマ州 エドモンド

1月13日(金)

神の使命を果たす

聖書朗読 エレミヤ 1:1~19

わたしがあなたを遣わすどんな所へでも行き、わたしがあなたに命じるすべての事を語れ。彼らの顔を恐れるな。わたしはあなたとともにいて、あなたを救い出すからだ。

エレミヤ 1:7~8

神様はエレミヤに、彼が生まれる前から預言者として選んでいただとおっしゃいます。エレミヤは言い訳をして逃れようとはしますが、神様は彼がその使命を果たすのだとしてご意志を通されます。私達も皆使命が与えられており、神様の働きのために私たちが置かれた場所があるのです。

あなたの使命は聖書クラスで説教をしたり、教えたりすることでしょうか。近所の方々に家庭での聖書の学びの場を提供することでしょうか。職場で正しい生き方を示し、あなたの内にあるイエス様を、他の方々に見出してもらうことでしょうか。学校でクリスチャンらしい生き方をし、クラスメイトにあなたの良い行いを見てもらい天のお父様に栄光を帰すことでしょうか。イエス・キリストについて聞いたこともない人々にキリストを宣べ伝えるため宣教活動に出て行くことでしょうか。あるいは、貧しい人々とともに働き、彼らがキリストを見出し近づくことが出来るようにすることでしょうか。

神様は私たちそれぞれに使命を与えておられます。あなたは主に栄光を帰すため、与えられた使命を行う備えをし、それを果たそうという思いはありますか。神様の働かれるあなたの置かれた場所を探し、神様がすでに働いておられるその働きに加わりましょう。

讃美歌 392

祈り 神様。私の前に置かれた機会を見させてください。そして、恐れずに周りの人々にあなた様を表わす者としてください。どこにいても、あなた様のために光を輝かせる者としてください。イエス様によって祈ります。アーメン。

スタッフオード・ノース

オクラホマ州 オクラホマシティ

1月14日(土)

患難への備え

聖書朗読 ダニエル 6:6~24

キリストの福音にふさわしく生活しなさい。

ピリピ 1:27

大都市の多くは緊急時に備えた計画があります。それに対応する人員は、負傷者の選別、応急処置、避難計画の作成、騒動制御、情報伝達、一時的な食糧およびシェルターの確保など、様々な状況のシミュレーション、特に実践的な訓練を行います。それは極めて重要です。

ダニエルは、霊的な緊急事態と言える状況に備えた計画を持っていました。「彼は、いつものように日に三度、ひざまずき、彼の神の前に祈り、感謝していた」(ダニエル 6:10)。ダニエルは怖れがやってもその姿勢を崩しませんでした。彼の献身はよく知られていたため、王はダニエルにこう言います。「あなたがいつも仕えている神が、あなたをお救いになるように」(ダニエル 6:16)。このことは私に自省を促すものです。突然降りかかる問題や大惨事に、常日頃から主への信仰をもって備えているだろうか。サタンが最悪の事態を私にもたらしたとしても、神様との関係は決して引き裂かれるものではないと信じているだろうか。これらに答える前に次の聖句を読んでみてください。

私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある者も、高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主イエス・キリストにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。

あなたには備えがありますか。

讃美歌 494

祈り 天のお父様。私たちが遭遇する誘惑や脅威に対するより良い備えをお示ください。あなた様の御霊の力とイエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

ボブ・マイズ

テキサス州 ラボック

1月15日(日)

偶像に悩まされたら

聖書朗読 ホセア 14:1~7

アッシリヤは私たちを救えません。私たちはもう、馬にも乗らず、自分たちの手で造った物に「私たちの神」とは言いません。みなしごが愛されるのはあなたによってだけです。ホセア 14:3

私たちが一時的に重要でしかないものを求め、それを永遠に重要なものとするとき、それが偶像崇拜となります。私たちの偶像の中には、本質的には悪くはないものもあります。良い仕事をしたい、幸せな家庭を築きたい、あるいは信仰に根差した者になりたいと思うことは素晴らしいことです。けれども、その願いが、雇い主を喜ばせることで自分の家族に名声を得させたいというものであったり、自分の子どもたちの評判を得ようとするによって神の国を第一とする事を犠牲にしまったり、あるいは自分が献身的な者であると認められたいと強く願うとき、神様に仕えることをおろそかにしてしまいます。

イエス様の御霊は、私たちのいのちに平安と喜びをもたらしますが、偶像崇拜は緊張と不安をもたらします。ホセアが示すように、自らを崇めるといった偶像崇拜から離れれば離れるほど、私たちは弱者や無力な人たちに手を差し伸べることが出来るようになります。神様に、時間と私たちの内で働かれる場を差し出しましょう。それによって多くの人が主にある慈しみを見出すことができますように。

讃美歌 219

祈り 全能の神様。あなた様こそ私たちの唯一のいのちの主であり、救いと平安の唯一の源とすることが出来るようにしてください。偶像を捨て、あなた様に手を伸ばし、あなた様の愛をもって他の人々に手を差し伸べることが出来るようにしてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

マーク・S・アダムズ

テキサス州 コーパスクリステイ